

(一般情報)

## 切花の土壌還元消毒について現地視察を実施

～ユリ切花の生産者がトルコキキョウ先進農家から学ぶ～

印旛農業事務所改良普及課 令和2年9月23日発

農業事務所では、9月9日に、ユリ切花の若手生産者組織「ユリ研究会いんば（9名）」を対象に、生産技術の向上を目的に、土壌還元消毒の視察と情報交換を実施したところ、9名の参加がありました。ユリ切花は、周年で生産するため、連作による病害が発生しやすく、商品化率が低下します。そのため毎作、蒸気消毒や農薬による土壌消毒が必須ですが、労力やコストが掛かることから、代替策として「土壌還元消毒」が注目されています。

当日は、土壌還元消毒を行っているトルコキキョウの先進農家を視察して、処理のポイントや栽培について情報交換を行いました。参加者からは「先進農家が工夫している点などの説明があり、ユリ切花にも応用できるため実用性が高い。」「生產品目の違う生産者との情報交換は有意義だった。」などの感想がありました。

農業事務所では、今後もユリ切花の若手生産者の技術向上を支援していきます。



土壌還元消毒の説明を受ける様子



切花栽培についての情報交換の様子